

令和3年12月23日

～相席時のプライバシー保護と飛沫感染防止で安全・安心・快適にご乗車いただけます～  
高速バスへのフェイス・パーテーション（間仕切り）の導入について

三重交通株式会社（取締役社長：竹谷賢一、本社：津市中央1番1号）では、高速バス車内の一部座席において、隣席との間仕切りの役目を果たすフェイス・パーテーションを導入いたします。

特に通勤通学時間帯において満席状態になることが多い高速バスでは、二人掛け座席での相席の際のプライバシー保護や、新たなコロナ変異株の感染拡大が懸念される中、弊社がこれまで新型コロナウイルス感染防止対策としてバス車内に施工した抗ウイルス加工などの取り組みに加え、飛沫防止対策としても有効であると考えます。

今後も皆様の通勤・通学・レジャーの足として、より安全・安心・快適なバスをご提供できますよう努めてまいります。詳細については下記のとおりです。

記

- 1 導入路線 8路線（非予約制）  
名古屋桑名高速線、名古屋長島温泉高速線、栄桑名高速線、栄長島温泉高速線、  
名古屋桜台高速線、名古屋湯の山温泉高速線  
桑名中部国際空港高速線、四日市中部国際空港高速線

- 2 導入車両数 82両（令和3年12月より順次導入）

3 フェイス・パーテーションの概要

- ・約30cm四方のステンボード製で、表面は抗ウイルス加工を施工済み。柔らかい素材のため、乗降時に触れても怪我等の心配はありません。
- ・お二人連れの場合など、お客様がパーテーションを不要とされる場合を考慮し、後方5列の左右二人掛け座席に設置。



<参考>三重県各地と関東方面を結ぶ  
夜行高速バス（3列シート車）では、  
間仕切りカーテンを導入しています。

